

平成 30 年度

地域・学校協働推進フォーラム

ポスターセッション資料

「地域・学校協働推進フォーラム」ポスターセッション 一覧

番号	発表タイトル
1	【神戸市】 神戸市の放課後子供教室について
2	【西宮市】 子供の居場所づくり事業
3	【伊丹市】 伊丹市における地域学校協働活動について
4	【川西市】 川西市の地域学校協働活動における連携
5	【三田市】 地域ぐるみで子育てするまち 三田 ～こうみん未来塾～～さんだ放課後子ども教室～
6	【加古川市】 中学校区連携ユニット12の取組
7	【稲美町】 子どもの成長を支援する地域活動
8	【西脇市】 西脇市地域学校協働本部事業
9	【小野市】 小野市寺子屋事業
10	【加東市】 地域子ども教室とうじょう教室
11	【姫路市】 三者で知恵を出す、未来の人財・地域づくり
12	【相生市】 相生市放課後子ども教室
13	【赤穂市】 放課後支援活動
14	【市川町】 いちかわ大好きっ子を育てる
15	【太子町】 放課後子ども教室（あそびっ子教室）
16	【佐用町】 協働のまちづくりと利神小学校での取組
17	【香美町】 放課後子ども教室
18	【新温泉町】 心と体を育む 照来子ども教室（陸上教室）
19	【丹波市】 地域とともに学ぶ「平成たんば塾」
20	【洲本市】 鮎原ふるさと先生
21	【淡路市】 淡路市学校支援活動

放課後子供教室

神戸市

■基礎データ(神戸市全体)

実施箇所数	128校/164校
参加児童数(29年度実績)	273,554 人
平均開催日数	週1~2 回

活動内容	自由学習
	自由遊び
	特別プログラム



【所管】

神戸市子ども家庭局
こども企画育成部
こども育成係

TEL
078-322-6948
FAX
078-322-6043

■事業概要

神戸市では、平日の放課後や週末等に、余裕教室や運動場等小学校の施設を活用し、地域の参画を得て子どもたちの安全・安心な居場所作りを進める「神戸っ子のびのびひろば」を実施しており、また、学童保育と神戸っ子のびのびひろばの児童の交流を進めています。

■運営など

- ・主に週1~2回、平日の放課後に2時間程度実施（全体の約80%）しているが、土日・長期休業日に活動するひろばもある。
- ・小学校の余裕教室や図書室、多目的室、運動場、体育館、クラブハウスにて実施。
- ・参加料は無料。
- ・地域ボランティアとして、主に地域住民やPTAが指導員になっている。

■主な活動内容

- ・学習や読書、遊びなどの自主的な活動。（自由に過ごせる場の提供）
- ・工作教室、読み聞かせ会、クリスマス会などの特別プログラムの実施。

■成果

- ・参加児童からは「毎回楽しみにしている」という声や、保護者からは「子供が楽しんで参加している」「特別プログラムで色んな体験ができる」など好評である。
- ・地域ボランティアである指導員からは「子供たちから活気をもらえる」などの声がある。

■課題

- ・指導員が十分確保できない。
- ・指導員は地域ボランティアなので、子供の扱いに慣れていない。
- ・特別な配慮を要する児童が増えており、指導が難しい。
- ・学校管理下外といいながら、児童のトラブルが起きると学校頼みになりがち。
- ・学校内が過密で、場所の確保が難しい場合がある。

■Webサイト

<http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/children/nobinobihiroba.html>

のびのび広場・ほんわ館

西宮市立安井小学校

■基礎データ

児童生徒数	736	人
学級数	26	学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 662-0045
西宮市安井町 1-25
TEL 0798-36-1422
FAX 0798-36-7204

■活動の概要

- ・放課後の小学校施設を活用して、子供たちの安全で自由な遊び場や学びの場を提供している。【「西宮市子供の居場所づくり事業」の一環として】
- ・地域の大人や子供同士の関わり合いを通して子供たちの逞しい育ちにつなげている。

■特徴(特徴的な活動)

- ・在籍児童なら誰でもいつでも参加できる文字通りの全児童対策事業として実施している。
- ・活動に関わる全ての人々が学び育つ社会教育的な活動の場を実現している。

■実施に当たっての工夫

- ・当事業の趣旨と必要性を理解してもらうために毎月お便りを発行している。
- ・子供たちが自ら学び成長できるような見守りと声かけを行っている。
- ・見守りボランティアの主体性や意識向上を図るために研修や意見交換の場を設けている。

■成果と課題

- ・普段遊んだことが無かった子との関わりや学年の違う子同士の遊びが生まれている。
- ・参加したことによる子供の変化を喜ぶ保護者からの声が多く出ている。
- ・課題は事業の終了時刻の延長と長期休業中の全日実施。
＜現在＞（終了時刻：16：30〔夏期〕 長期休業中の開催：午前中のみ）

■その他

- ・コーディネーターを午前中から職員室に常駐させ、学校の支援業務も兼ねることで、学校との調整や連携を円滑に行っている。
- ・日本世代間交流学会のシンポジウムで取り上げていただくことになっている。



のびのび広場の活動風景



ほんわか過ごす子供たち

■Webサイト

①サタスタみどり②土曜みずほっ子教室

①伊丹市立緑丘小学校 ②伊丹市立瑞穂小学校

■基礎データ

児童生徒数	①708②587 人
学級数	①23②19 学級
コーディネーター数	①1②1 人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	○
	その他	



①〒664-0892
伊丹市高台2-14
TEL072-782-2552
FAX072-783-6534

②〒664-0013
伊丹市瑞穂町3-50-1
TEL072-782-0613
FAX072-783-6820

■活動の概要

伊丹市土曜学習事業では、「基礎学力の向上」「学習習慣の定着」「豊かな人間性」を目標にして、学校・家庭・地域が連携して子ども達の健全育成の取組を推進している。事業の運営には地域人材・大学生・高校生ボランティアや学校PTA、市内外の企業（出前事業）の協力を得ている。

■特徴(特徴的な活動)

地元企業である松谷化学工業株式会社の地域貢献事業を活用し、「でんぷんってなんだ？」の教材を使ってでん粉の性質を調べる理科実験、企業の業務紹介を通して食育・キャリア教育に関わる内容を学習した。

■実施に当たっての工夫

同じ中学校に進学する近隣2校の小学校が合同で事業を開催して、校区間の子ども・保護者の交流も兼ねた事業に取り組んだ。企業側は、社員の資質向上のため若手研究員の研修の機会とした。

■成果と課題

地元企業の社員が講師になった出前事業は、子ども達の地元企業への関心が育まれ、本市への誇りにつながると思われた。また各グループに研究員が配置されたグループ学習により、子ども達にとって将来の仕事への関心を高める機会となった。

■その他

市内全小中学校（17小学校・8中学校）で伊丹市土曜学習事業を実施している。全校に配置している校区コーディネーター運営会議では、各校の参考事例等の紹介を兼ねた研修や情報交換を行い、豊富な企画内容となるよう研究を重ねている。事業運営の協力者として高校生ボランティアや中学生が部活動単位で協力することが増えてきている。昨年からは、小・中学校が連携して、学習・生活習慣に統一した目標を設定したり、小・中学生が関わりを持てる事業内容を企画したりするなど事業の推進を図っている。



企業の業務内容を通じた食育・キャリア教育



企業若手研究員によるでん粉の湯せん実験指導

■Webサイト

伊丹市ホームページ／伊丹市土曜学習事業
<http://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDSHOGAI/EDSYAKAI/itamisidoyogakushujigyo/index>

北小わんぱくクラブ

川西市立川西北小学校

■基礎データ

児童生徒数	419	人
学級数	17	学級
コーディネーター数	2	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 666-0003
川西市丸の内町7番1号
TEL 072-759-3880
FAX 072-759-1353

■活動の概要

・主に、卒業生の保護者や地域の方々の協力を得て、折紙・将棋・ドッジボール教室等の活動を行っている。

■特徴(特徴的な活動)

・年々、地域とのつながりが広がり、教室の種類も増えているが、学校教員の負担にならないよう、可能な範囲で継続的に運営できるよう心掛けている。
・北小わんぱくクラブのスタッフが学校支援地域本部のコーディネーターも兼ねており、事業ごとの連携がとれている。

■実施に当たっての工夫

・協力者を募る際は、卒業生の保護者を中心に行っている。
・学校にも情報共有を行い、空き教室の使用等の調整を行っている。
・参加者のうち、学童保育に在籍している児童についての名簿を学童に渡し、開催日の変更等があった場合には事前に連絡を行っている。

■成果と課題

・子どもたちの放課後の居場所としてだけでなく、活動のことを家族に話すなどして、家庭でのつながりづくりのきっかけともなっている。
・課題としては、指導者の後継者問題が挙げられる。また、毎年一定以上の児童が応募、参加するよう、教室内容を考えていく必要がある。

■その他

—



将棋教室



ドッジボール教室

■Webサイト

—

こうみん未来塾

三田市

■基礎データ

児童生徒数	人
学級数	学級
コーディネーター数	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	○
	その他	



〒 669-1595
三田市三輪2-1-1
TEL 079-559-5046
FAX 079-563-3611

■活動の概要

科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概を持つ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成のため、教育・研究機関や企業、NPOや地域の達人などの協力を得て、子どもたちが本物に触れる機会を提供できるプログラム用意し、地域との協働で地域の子どもたちのために「こうみん未来塾」を実施している。

■特徴(特徴的な活動)

地域人材プログラム(こうみん先生)として、シニアや学生たちが、長年の知識や経験、研究などを通して得た技術などを活かしたプログラムを、地域の子どもたちのために実施することで、地域への愛着を深める効果もある。

■実施に当たっての工夫

- ・文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けた県立三田祥雲館高校とのコラボ事業を展開し、小学生から高校生へと学びをつないでいく。
- ・地域開催を基本とするため、実施されない地域の子どものために全市版を開催する。

■成果と課題

- ・H28年度に始まった新規事業であり、モデル事業として1中学校区・参加者263人からスタート。H29年度には20小学校区中13校区で展開、参加者717人となった。今年度は実施校区・参加者ともにさらなる拡充を目指す。
- ・様々な「協働」から成り立つ事業であり、リタイア後のシニアの活躍の場としても期待されている。



大人気！三田祥雲館高校
星空教室



手作りコックピットで
パイロット体験

■Webサイト

<http://www.city.sanda.lg.jp/sukoyaka/koumin.html>

志方中学校区連携ユニット12

加古川市立志方中学校・志方小学校・志方東小学校・志方西小学校・しかたこども園・ゆき保育園

■基礎データ

児童生徒数	—	人
学級数	—	学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	
	その他	○



〒	
—	
TEL	—
FAX	—

■活動の概要

- ・中学校区内の保育園・こども園・小学校・中学校と公民館、地域コーディネーター、PTA代表者、地域代表者が参画する地域協働推進部会を開き、地域とともにある学校園づくりについて協議を行っている。

■特徴(特徴的な活動)

- ・学校園支援ボランティアによる、学習支援や環境整備等
- ・学校・家庭・地域が連携した人権教育(人権フェスティバル)
- ・町内会と協働したあいさつ運動

■実施に当たっての工夫

- ・地域の思いや願いを把握するために、保護者と地域関係団体の方にアンケート調査を実施した。
- ・地域へユニット活動の情報を伝えるため、ユニット便りを作成し学校園や公民館等に掲示している。
- ・各校園のユニット担当者が集まり、情報交換や活動の詳細な打ち合わせを行う「ユニット推進部会」を開催し、情報共有を図っている。

■成果と課題

- ・地域の願いを受けた教育活動の充実が図られるとともに、それを支える地域の支援の増加がみられた。
- ・子どもたちが地域と関わっていくことが増加した。また、地域人材や資源が活用され、体験活動の充実が図られた。
- ・いくつかの活動は、一部の人に支えられて続いている現状がある。今後は組織化し、持続可能な活動にしていく必要がある。

■その他

- ・中学校区ごとにユニットを設け、地域の特性を生かした特色ある活動を行っている。
- ・「地域とともにある学校づくり協議会」を市に設置し、各ユニット地域協働推進部会からの報告を受けて方向性の提案を行う。



あいさつ運動



人権フェスティバル

■Webサイト

—

土曜体験活動「天満神社探検隊」

稲美町立天満小学校

■基礎データ

児童生徒数	711	人
学級数	22	学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	○
	その他	



〒 675-1115
加古郡稲美町国岡 538
TEL 079-492-0300
FAX 079-492-0242

■活動の概要

参加者（親も参加可）を募集し、土曜体験活動として郷土学習を実施した。
 ・ 地元の天満神社の起源や伝説、地域の歴史等を子どもたちに伝え残す。
 ・ 親もスタッフも含めた地域の大人と子どもがいっしょに楽しみながら学ぶ。

■特徴(特徴的な活動)

- ・ 天満神社などのスポットで、宮司から神社の起源や伝説、歴史について説明を受ける。
- ・ 児童は発見したこと（初めて知ったこと）を探検手帳（主催者作成）に記録していく。
- ・ 天満神社宮司作成の「天満神社検定」に挑戦し、高得点者には認定証を授与する。

■実施に当たっての工夫

- ・ 天満神社には、だれも知らない多くのなぞが眠っている。参加者は探検家になって、そこに隠れた数々の事実を次々と発見していくというモチベーションを与えた。
- ・ ただ単に知識を得るだけではなく、ご当地検定「天満神社検定」に挑戦するという目標を設定することで、学習意欲を高めた。

■成果と課題

成果：探検家気分で学習した後、4年生以上の親子が「天満神社検定」に挑戦し、ほぼ全員が認定証を手にするなど、郷土学習に関しては目標をほぼ達成できた。
 課題：地域学校協働活動の認知度が低く、参加が親子合わせて23名と予想を下回った。

■その他

天満小学校区地域学校協働本部委員（地域住民8名、学校2名、地域コーディネーター1名）が何度も協議を重ねてこの活動を企画し、当日の運営のほとんどを担った。



①なぞのスポットで説明を聞く



②天満神社検定に挑戦



③宮司さんより認定証授与

■Webサイト

稲美町公式ホームページよりfacebookで閲覧できます

西脇市地域学校協働本部事業

西脇市内8小学校・4中学校

■基礎データ

児童生徒数	3071	人
学級数	105	学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	○
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 677-0015
西脇市西脇790-15
西脇市総合市民センター内
TEL
0795-22-5996
FAX
0795-22-6015

■活動の概要

平成20年より学校支援地域本部事業として始まった活動が11年目を迎えた。地域の方々の協力を得て、学校の教育活動や環境整備等を行うことにより、子ども達の“学び”のより一層の多様化・活性化を図っている。

■特徴(特徴的な活動)

児童の登校時における見守り、校庭・校章園剪定やプールのペンキ塗り等の環境整備、家庭科のミシン補助等の実技における授業支援、生活科における伝承遊びなど各校の現状に応じて多種多様な活動が行われている。

■実施に当たっての工夫

ボランティアの募集はチラシだけでなく、ボランティアの人脈を活用し学校現場にマッチした人材確保に努めている。また、活動についてはこれまでの積み重ねを大切にし、可能な限り同じ地域の方々と協働で実施するようにしている。

■成果と課題

【成果】地域の方々の協力を得て、長年継続して活動できている。また、学校支援に対する意識も高まり、年々ボランティア登録者数は増加しており、現在135名に登録していただいている。【課題】学校のニーズとボランティアのニーズが一致せず、登録しても声がかからないボランティア登録者がいる。

■その他

今後も、連携・協働をさらに深め、地域により密着した活動を展開し、「地域で子どもたちを育てる」という意識を更に高めていきたい。



ミシンボランティア



一年生生活科ボランティア

■Webサイト

--

小野市の寺子屋事業

小野市内 8 小学校

■基礎データ

児童生徒数	2792	人
学級数	96	学級
コーディネーター数	3	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 675-1309
 小野市福住町247-5
 コミュニティセンター下東条
 TEL
 0794-67-0044
 FAX
 0794-67-0044

■活動の概要

・小野市内 6 カ所のコミセンで寺子屋事業を実施しており、参加児童数は合計 180 名である。開催日は、週当たり 3 日を原則として、各寺子屋年間 100 回程度実施している。勉強や体験的な活動を地域のボランティアの協力を得て、子ども達に安全安心な居場所を提供している。

■特徴(特徴的な活動)

・1 回約 2 時間で、前半は学習を、後半は体験やスポーツを行っている。学習では、宿題やおの検定に向けての練習を、体験では、工作や折り紙・昔遊び・おやつ作り・茶道・野菜作り等を、スポーツでは、バドミントンやサッカー・卓球・鬼ごっこ等を実施している。

■実施に当たっての工夫

・運営委員会を定期的開催して、情報交換や支援内容の確認をしている。
 ・日誌を活用して、連絡事項や問題点の共有、感想や意見の相互理解を図っている。

■成果と課題

・異年齢の子ども達同士や子どもと地域の方が触れ合う機会を提供できている。
 ・保護者アンケートから、寺子屋について肯定的な意見が多く寄せられている。
 ・寺子屋を実施する支援者やボランティアの確保が課題である。

■その他

・最初に保護者説明会を開き、運営方法の理解を得るとともに、支援者会議により、よりよい運営方法を検討して、随時改善に努めている。

zuji



学習風景
 (コミセンおおべ寺子屋)



七夕笹飾り
 (コミセン下東条寺子屋)

地域子ども教室とうじょう教室

加東市立東条東小学校・東条西小学校

■基礎データ

児童生徒数	76	人
学級数	2	学級
コーディネーター数	1	人



〒
(東条東小学校)
〒673-1312
加東市袴鹿谷56
TEL:0795-47-0044
FAX:0795-47-0522
(東条西小学校)
〒673-1334
加東市吉井298
TEL:0795-46-0044
FAX:0795-46-0894

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	

■活動の概要

- ・地域の人々や兵庫教育大学生の協力を得て、家庭学習の補助や体験活動の支援、自由遊びの見守り等を行っている。
- ・夏季休業期間中には、校区ごとの子ども教室とは別に、両校の児童が公民館に集まったの合同子ども教室を実施している。

■特徴(特徴的な活動)

- ・兵庫教育大学生による「やってみよう！」(大学生が、自身が提供できる体験活動等を企画・立案し、子ども教室指導者と連携して実施する体験活動)
- ・東条地区まちづくり協議会主催の「公民館祭り」への参画(年4回程度)

■実施に当たっての工夫

- ・兵庫教育大学との連携
(新入生へのボランティア登録呼びかけ、大学ボランティアステーション・登録学生との定期的な打合せ、運営委員会への学生代表の参画 等)

■成果と課題

- ・大学・学生との連携を密にすることで、地域の方々とは違った視点、発想の体験ができ、児童が楽しく参加できる。
- ・授業等により学生の参加が流動的であり、学生が参加できないときには地域の方の負担が大きくなる。

■その他

- ・平成33年度に両校が統合して開校予定の小中一貫校において、地域子ども教室および児童クラブをどのように実施していくか検討中。



ペットボトルで
金魚すくい



大きなシャボン玉を
作ろう

■Webサイト

—

三者で知恵を出す、未来の人財・地域づくり

姫路市立白鷺小中学校

■基礎データ

児童生徒数	937 人
学級数	35 学級
コーディネーター数	0 人

※コミュニティ・スクールのコーディネーターは1名配置

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	○
	その他	○



〒 670-0012
姫路市本町68番地 52
TEL 079-222-5588
FAX 079-282-6705

■活動の概要

・学校運営協議会を設置し、学校、地域の各種団体や同窓会、保護者の代表らが一体となって定期的に会議を開き、児童生徒の育成に寄与したり、地域の活性化につながる取り組みを検討、実施している。

■特徴(特徴的な活動)

・地域、保護者を中心に土曜日に希望する児童生徒を対象に学習会を実施している。近隣の大学等にもボランティアを呼びかけている。
・学校運営協議会が主体となり、児童生徒とともに行うラベンダー植栽など、新しい活動を展開している。

■実施に当たっての工夫

・地域には公民館があったが、学校と地域の連携や情報交換が密に取れるように、学校にも専用の部屋を設け、そこに人が集まれるようにした。
・土曜学習会に参加いただいている退職(校長)先生には、学習指導だけでなく、ボランティア学生への助言をしてもらったりしている。

■成果と課題

・地域の方が、学校や児童生徒に関心をもっていただけるようになった。
・土曜日の学習会は特に中学生は部活動との関係から参加が消極的になっている。
・様々な取り組みに必要な予算の獲得が困難である。

■その他

・土曜学習会で学んだ卒業生が、指導ボランティアに参加したり、指導ボランティアの学生が教師になったりしている。



学校運営協議会
(環境部会)の活動



土曜学習会(楷の木サタ
デー・スクール)の活動

■Webサイト

(白鷺学校運営協議会) <http://www.himeji-hyg.ed.jp/hakuro-g/index.cfm/47.120774.html>

相生市放課後子ども教室

相生市内全7小学校

■基礎データ

児童生徒数(7教室)	329 人
学級数(教室数)	7 学級
コーディネーター数	1 人



〒 678-0041
相生市相生六丁目 1-1
TEL 0791-23-7144
FAX 0791-23-7175

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	

■活動の概要

平成19年度より市内2小学校で事業開始。その後、少しずつ実施校を増やし、平成26年度より市内全7小学校で実施。教育活動サポーター（有償ボランティア）の協力を得て、週2～3日、各小学校の空き教室等を活用しながら、学習や遊びを通して交流し、安全安心な放課後の時間を過ごすことを目的としている。

■特徴(特徴的な活動)

子ども教室は、児童たちが宿題をすることから始める。「学校終了後には宿題をする」という習慣を身に付けたり、意識づけたりすることを目的としている。その後の遊びやレクリエーションなどを行う場合は、児童の自主性を大切にしており、サポーターの皆さんにも理解していただくよう努め、あくまでも活動のサポートに徹している。

■実施に当たっての工夫

- ・参加希望者には申込時に保険に加入していただき、ケガ等の対応をしている。
- ・出欠確認や保護者との連絡のため、参加カードを作成している。
- ・情報交換やよりよい教室運営のため、月に1回程度、サポーター会議を行っている。
- ・「過ごし方のきまり」や「安全対応マニュアル」を作成し、共通理解を図っている。

■成果と課題

【成果】・児童とサポーターとの人間関係づくり、地域での子どもの見守りなど安心安全な放課後居場所づくりにおいて、大きな役割を担っている。

【課題】・教育活動サポーターを確保する必要がある。授業時間数の関係で放課後の時間が短くなったり、学び塾事業と両立したりしようとする中で活動日の確保が難しくなっている。

■その他

試行として市内1校で、夏休み中に「早朝子ども教室」としてラジオ体操から放課後児童保育までの時間についても、教育活動サポーターの協力を得て、子ども教室を開設している。



外遊び
(双葉小)



宿題の時間
(双葉小)

■Webサイト

-

赤穂アフタースクールの支援活動

赤穂市立赤穂小学校

■基礎データ

児童生徒数	80 人
学級数	1 学級
コーディネーター数	1 人



〒 678-0239
赤穂市加里屋37
TEL 0791-42-2171
FAX 0791-42-5313

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	○

■活動の概要

地域の生涯学習指導員「まちの先生」を利用して、放課後の時間を利用した活動の支援事業

■特徴(特徴的な活動)

放課後児童について、空き時間を利用し、地域との連携を深める

■実施に当たっての工夫

生涯学習課、現地の指導員等を事前に打ち合わせを行い、調整を実施する。

■成果と課題

- ・指導員は自分の知恵を後世に伝えることができうれしかった、とのこと。
- ・児童は普段できない経験に大変興味を持った。

■その他

生涯学習課では、他にも生涯学習指導員「まちの先生」を利用するよう、努めている



活動内容



活動内容

■Webサイト

--

いちかわ大好きっ子を育てる

市川町立小・中学校

■基礎データ

児童生徒数	-	人
学級数	-	学級
コーディネーター数	1	人



〒 679-2315
神崎郡市川町小畑 848番地
TEL 0790-26-0001
FAX 0790-26-2971

活動内容	学校支援地域本部	○
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	○
	その他	

■活動の概要

- ・地域の人の協力を得て、大正琴教室や茶道教室、また、町内の小学生に民俗資料館の見学と体験を行っている。また、登下校を見守る学校安全ボランティアが活動している。
- ・いちかわ大好きっ子事業は、異世代交流による地域活動の促進を目的に、学習農園の作物作成や地域行事などに取り組んでいる。

■特徴(特徴的な活動)

- ・児童・生徒との交流を大切にし、世代間交流による地域コミュニティの充実に努めている。
- ・児童の安心安全な活動の場となるとともに、市川町を大好きになれる経験の場になっている。

■実施に当たっての工夫

- ・学校と家庭と地域が連携しやすいように、広報や連絡などに教育委員会が助言している。
- ・事前に指導や支援のあり方を確認し、実施の流れを明確にしている。
- ・いちかわ大好きっ子事業は、年間10回以上の活動を町内小学校において実践している。

■成果と課題

- ・土曜日の教育活動として行っている伝統文化子ども教室(大正琴教室や茶道教室)は保護者からは「正しい姿勢や礼儀作法が身につく、本当によかった」との意見をいただく。
- ・学校と家庭と地域の連携のもとで、子どもたちが市川町内で安心安全に活動ができている。
- ・今後も継続して実施するために、地域ボランティアとの連携が必要である。

■その他

- ・いちかわ大好きっ子を育てることで、大人になっても市川町に対する郷土愛を持ってほしい願いが詰まっている。



(伝統文化子ども教室
(土曜日の教育活動))



地域ボランティアとの
田植え風景

■Webサイト

<https://www.town.ichikawa.lg.jp/forms/top/top.aspx>



放課後子ども教室（あそびっ子教室）

龍田小学校・斑鳩小学校・太田小学校・石海小学校

■基礎データ

児童生徒数	411人
学級数	学級
コーディネーター数	2人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	○
	その他	



太子町役場

〒 671-1592
揖保郡太子町鵜 280番地1
TEL 079-277-1017
FAX 079-277-2201

■活動の概要

地域の方々の参画を得て、子ども達と共にスポーツ体験や伝統文化体験を実施することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、年間20回実施している。

■特徴（特徴的な活動）

少子高齢化が言われる中、本町では少子化が深刻な状況ではないため、小学校の空き教室が無く、平日の放課後に実施することが出来ない状況である。そのため、町内の4小学校区すべてを対象として、町内の公共施設等を利用して実施している。
学習内容では、地域を知る学習、伝統文化や食育としての伝統食の体験、地域で活躍されている方を指導者として多方面の学習内容とすると共に、地元の高校と連携し、高校生を講師として依頼している。

■実施に当たっての工夫

参加した子ども達が、五感で感じ、記憶に残る体験学習を心がけている。そのためには、流れ作業的な体験学習とならないよう、1人ひとりが参加した実感を得ることに焦点をおいているため、人数制限を設ける必要がある。
年々、参加希望者が増加することにより、抽選となるが、子ども達に平等な学習機会の提供が出来るよう配慮している。

■成果と課題

【成果】
参加者が年々増加している。
プログラムは、2時間程度と短時間であるが、子ども達は熱心に集中して取り組んでくれている。
1年生から6年生が参加するため、プログラム内容に応じて、学習ボランティアが付き添い、それぞれの学年に応じたフォローをすると共に安全確保を行っているため、円滑な運営が出来ている。
【課題】
事業にはかかせない見守りや補助をしてくれる信頼できるボランティアの確保が課題である。
新たな事業の開拓、充実が求められる。

■その他

- ・放課後子ども教室（あそびっ子教室）を学校の放課後に実施したいが、本町の場合、空き教室がないことから、さらなる地域、学校の協力、理解を得ながら将来的には学校で放課後に実施したいと考える。
- ・土曜日の教育活動として、ALT等の外国人講師を活用した英会話教室を年間15回実施している。



みんなで歌おう



楽しいみそ作り

■Webサイト

<http://www.town.hyogo-taishi.lg.jp/>（太子町役場HP）

協働のまちづくりと利神小学校の取組み（防災学習）

佐用町立利神小学校

■基礎データ

児童生徒数	74 人
学級数	9 学級
コーディネーター数	4 人



〒 679-5343
兵庫県佐用郡佐用町口長谷808
TEL 0790-83-2100
FAX 0790-83-2107

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	
	その他	○

■活動の概要

4つのコミュニティ（長谷、平福、石井、海内地域づくり協議会）では、住民と行政の協働のまちづくりを推進している。その一環として、利神小学校とも連携・協働しながら、子どもたちの健全育成を推進している。

■特徴(特徴的な活動)

特徴的な活動は様々あるが、佐用町は平成21年台風第9号災害で未曾有の大水害が発生し、同校区でも被害が甚大であった。そのため、安全で安心な地域づくりを推進するため、地域と学校が協働し、子どもから大人までの防災に関する学習に取り組んでいる。

■実施に当たっての工夫

- ・毎年、小学4年生を対象にした学習として実施し、長く継続した取り組みとしたい。
- ・実施地域で被災された方から、当時の実際の様子や体験談を話していただくこと。特に当時、利神小学生であり、現在高校生になっている生徒の被災体験を通じて、より小学生にとって身近な話としたこと。
- ・地域住民の案内による「まち歩き」も実施し、当時の写真と比較して、リアルさをより感じる事ができる活動としたこと。

■成果と課題

- ・時間の経過とともに、地域の中で薄れつつある被災体験を、地域住民と小学生が共有し、防災意識の向上につながっている。
- ・被災から9年が経過し、被災以降に生まれた児童たちも存在している中、未永く過去の経験を引き継ぐことが課題である。

■その他

- ・4年生の夏休みの宿題に、児童の住む集落の「危険個所調査」も実施予定。



住民案内によるまち歩き



当時小学生からの被災体験学習

■Webサイト

—

香美町放課後子ども教室

香美町立佐津小学校・柴山小学校・長井小学校・余部小学校・射添小学校・小代小学校

■基礎データ

児童生徒数	267	人
教室数	6	教室
コーディネーター数	3	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	



香美町ジオパークキャラクター『ジオンくん』

香美町の学校数
 小学校 11校※
 中学校 4校
 ※分校1校含む

放課後子ども教室実施数
 小学校 6学級

■活動の概要

香美町では、少子化により放課後家に帰っても近所に遊ぶ友だちがいない。そのため、子どもたちが群れて遊ぶ体験が不足がちである。そこで、地域の人々の協力を得て、学校の空き教室や公民館の施設を利用して、学習やスポーツ・文化活動・集団遊び等の活動を行っている。小規模校では、希望者4名以上で実施している。6月から2月までの間、週1回、年間25回実施予定である。

■特徴(特徴的な活動)

学習(宿題)や子どもたちだけの遊びだけでなく、県立村岡高校の生徒や高齢者グループホーム、保育所、英語やお茶会の先生など様々な地域の人や団体との交流を行い、ふるさとへの愛着を持てるようにするとともに、地域コミュニティの活性化を推進している。

■実施に当たっての工夫

- ・開設時間が15時から18時までの3時間と長いため、子どもたちが飽きないように、近くのグラウンドやスポーツクラブの施設などを利用したり、読み聞かせやシャボン玉作り、七夕やハロウィンの時期には工作をしたりしている。
- ・教室のルール(あいさつ、くつをそろえる、手洗い・うがい、片付け等)を守れるよう子どもたちを指導している。保護者説明会でもルールを周知している。

■成果と課題

- ・普段、接することの少ない地域の大人や高校生、福祉施設の高齢者等との交流と通じて、家や学校では体験できない活動ができる。
- ・校区によっては、ボランティアの希望者が減少傾向にあり、高齢化も進んでいる。
- ・小規模校では、年度によっては参加希望者が少なく、教室を開設できないことがある。

■その他

【各教室参加者数】さづっ子教室21人・しばやまっ子教室7人・ながいっ子教室4人・あまるべっ子教室16人・いそうっ子教室29人・おじろっ子教室5人(冬季間は10人)



村岡高校の生徒とクリスマス会



地元の竹を使った七夕飾り

■Webサイト

--

心と体を育む 照来子ども教室（陸上教室）

新温泉町立照来小学校

■基礎データ

児童生徒数	72	人
学級数	1	学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	○
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 669-6815
美方郡新温泉町桐岡374
TEL 0796-92-1093
FAX 0796-99-2366

■活動の概要

- ・照来子ども教室実施要領に基づき、放課後や週末に旧照来小学校グラウンド・体育館等を活用して、「照来子ども教室（陸上教室）」を設け、年間を通じて活動している。
- ・主に基本の運動、短距離走及び長距離走の正しい走り方、リレー練習など体力づくりを通じて、地域コミュニティの充実並びに心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進している。

■特徴（特徴的な活動）

- ・小学校1年生から6年生まで幅広く多くの子どもたちが参加し、地域の協働活動支援員等の協力を得て、体を動かす学びの場、放課後における交流の場になっている。
- ・参加している子どもたちは、体力の向上や健康面での充実が図られている。

■実施に当たっての工夫

- ・年2回の運営委員会を開催し、活動計画を立案し、学校及び地域住民の理解、協力を得ている。
- ・コーディネーター、協働活動支援員、協働活動サポーター、保護者が綿密な連携・協力をし、スムーズな運営体制が確立されている。

■成果と課題

- ・活動に参加した子どもたちは、積極的に競技会へ参加し、自己の記録を伸ばしている。体力が向上している子どもが多い。
- ・冬季になると、活動メニューが限られ、参加者も減少している。

■その他



陸上練習



競技会への参加

■Webサイト

--

平成たんば塾

丹波市立全小中学校

■基礎データ

児童生徒数	—	人
学級数	—	学級
コーディネーター数	—	人



〒 669-3198
丹波市山南町谷川 1110
丹波市教育委員会
TEL 0795-70-0811
FAX 0795-70-0814

活動内容	学校支援地域本部	
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	○
	その他	

■活動の概要

- ・地域の子どもは地域で育てるという理念のもと、市民総がかりですすめている。
- ・豊富な知識や経験を持つ地域住民の教育力を活かし、小学校区や自治会単位に推進組織を立ち上げ、子どもたちの学習支援等をすすめている。

■特徴(特徴的な活動)

- ・地域や校区の実態に応じて、全小学校区で実施している。
- ・学習支援をはじめ、各校区の教育資源（人材や史跡、伝統文化等）を活用し、多様な活動を行っている。

■実施に当たっての工夫

- ・各自治協議会が中心となり、支援ボランティアの確保を行っている。
- ・ジャンプアップガイドを作成し、各地域の効果的な取組を紹介する等、活動の充実を図っている。

■成果と課題

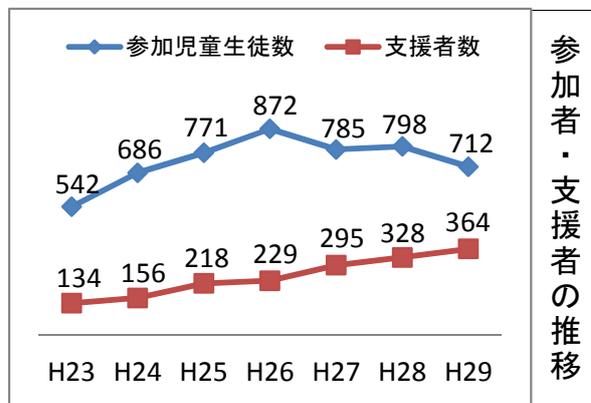
- ・意欲的な子どもの参加や高校生を含む支援者数の増加、地域の教育力の向上につながっている。
- ・中学生の参加者の確保や参加者の安全確保（移動時等）が課題である。

■その他

- ・実施後の支援者の感想には、「子どもたちと触れ合える機会である」「地域のことを学んだり体験したりする機会にしたい」など、地域の方からもたんば塾を効果的に活用しようとする意識が伺える。



学習の見守り支援



参加者・支援者の推移

■Webサイト

—

ふるさと先生

洲本市立鮎原小学校

■基礎データ

児童生徒数	140	人
学級数	8	学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	○
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 656-1325
洲本市五色町鮎原南谷559
TEL 0799-32-0009
FAX 0799-32-0019

■活動の概要

・以前から地域との結びつきが深い校区であるが、平成27年度ふるさと意識の向上をねらいとした「ふるさと先生」の募集を行い、従来の学習支援に加え「鮎っ子ふるさとタイム」の実施・サポートなど、地域コーディネーターを中心に子どもたちとのふれあい活動を継続的に行っている。

■特徴(特徴的な活動)

・地域住民による地域フィールド学習や地域住民との交流学习を計画的に行っている。
・いびつ餅作りや手縫いの基礎・ミシン学習、持久走の見守り、校外学習の引率補助、新入生の下校指導補助など、学校のニーズに応じ積極的な支援活動を行っている。
・「鮎っ子ふるさとタイム」では、ふるさと先生による季節の行事（七夕かざり・お茶会・かるた取り…）や折り紙活動を通して子どもたちとふれあい、週一回の読み聞かせ活動では読書に親しむ環境づくりをめざしている。

■実施に当たっての工夫

・学校やふるさと先生の思いや願いを大切にするコーディネートに心がけている。
・支援内容や活動内容によって、よりニーズに適した支援者に声かけをし、子どもたちの活動をサポートしてもらう支援体制づくりに努めている。
・活動の反省を繰り返し、活動内容が固定化せずスムーズに行えるよう計画・実施している。

■成果と課題

・子どもたちが、多くのふるさと先生と交流を重ねていくことにより、互いに信頼関係が育ち、心にゆとりや思いやる心が育っている。
・地域人材の活用により、地域の教育力向上と活性化に活かされている。
・これからも、地域住民と児童とのさりげないふれあいの場を作り続けていきたい。

■その他

・本年度、より多くの幅広い地域住民の参画をめざし、学校支援ボランティア・ふるさと先生の再募集を行っている。
・校区内のふるさと先生に限らず、市内の支援団体や他校の学校支援ボランティアとの協力体制を広めていきたい。



学習支援
いびつ餅作り
— 二年



鮎っ子ふるさとタイム
七月七夕かざり

■Webサイト

--

淡路市学校支援活動

淡路市全小中学校

■基礎データ

児童生徒数	3,061	人
学級数		学級
コーディネーター数	1	人

活動内容	学校支援地域本部	○
	地域未来塾	
	放課後子ども教室	
	土曜日の教育活動	
	その他	



〒 656-2292
淡路市生穂新島8番地
TEL 0799-64-2543
FAX 0799-64-2566

■活動の概要

学校支援ボランティアの派遣と学校における連携教育のコーディネートを行っている。学校支援活動を推進することにより、子ども達の地域への愛着や誇りを育むとともに、学校と地域の連携・協働を推進している。

■特徴(特徴的な活動)

- ・塩田小学校では、地域在住の方と学校の連携をはかり、水田を借りて粃まき、苗の手植え、稲刈り等の米作り体験を行っている。
- ・中田小学校では、1/17に合わせて保護者、地域住民、消防団、市と協力し避難所運営上の問題をシュミレーションし防災意識を高める地域防災訓練を行った。
- ・一宮中学校では、淡路市いずみ会の方に依頼し、「郷土料理を知ろう」というテーマで地産地消の調理実習を行った。
- ・その他、生け花、墨絵、茶道、バードウォッチング等、学校と地域が密着した活動を連携をはかりながら行っている。

■実施に当たっての工夫

学校応援団バンクの作成や整備を行い、約130か所の事業所や施設が登録されている。学校の校外学習を行う際に、学校応援団バンクを活用することでテーマに応じた地域ボランティアや事業所を検索しやすく、地域交流や体験学習に生かしている。

■成果と課題

学校の様々な活動を地域ボランティアが支援することで、学校教育活動の充実や教員が子どもに向き合う時間をより多く確保できた。しかし、学校応援団バンクの協力団体等を十分に生かし切れていない現状もある。

■その他

- ・学校支援活動報告書を作成し、情報共有を図っている。
- ・「学校応援団バンク」の協力事業所が掲載されているCD-Rを、各小中学校に配布している。



米作り体験



職業体験

■Webサイト

--